

ぞうさんニュース 5月



〇小児アレルギー性皮膚炎診療ガイドラインが昨年12月に新しくなりました(第1弾)

(皮膚科専門医と小児アレルギー専門医が一緒になって検討した画期的なものです。)

これまでは皮膚炎症状が現れると塗り薬で治療し、ひふ症状が良くなると塗るのをやめていました。見た目のひふの症状変化に合わせて塗り薬を使用したり中止したりする方法をリアクティブ療法といいます。

しかしこの方法では、ひふの中ではまだ炎症が収まっておらず次第に炎症が積み慢性化していくことが分かってきました。

そこでひふの中でのアレルギー-炎症反応をゼロベースにする治療法「プロアクティブ療法」が推奨されました。これは喘息治療の発作ゼロベースを目指す考え方と同じです。

ひふ炎症状がアレルギー性皮膚炎であると診断された場合、炎症を抑える塗り薬をしっかり使います。一見よくなってもゼロベースを目指す治療を続けます。

塗り薬：ステロイドホルモンは抗炎症作用としては優れたものです。効果のレベルは5段階になっています。皮膚炎がひどい部分には強めのステロイドを、軽い部分には弱めの、一見よくなってきた場合にも弱めのステロイドを使います。

塗り方のコツ：

1. 塗る回数は朝夜と2回は塗ってください。1日1回ではなかなか良ならず、かえって強めの塗り薬を長く使うことになってしまいます。塗る量は医師から指示された量を守ってください。
2. ひふがすべすべになってきた部分は、1日おきに1日2回塗りましょう。それでもすべすべが続いたら、1週間に2回1日2回にして。それでもすべすべが続いたら1週間に1回1日2回に、と減らしていきます。
3. 十分に効いたかどうかは血液検査ではっきりしますが、1日おきに塗る回数を減らしたらまたひふ症状が悪化する場合は、まだひふの中で炎症が残っていると判断してもよさそうです。
4. ステロイド以外にも新しい作用メカニズムの塗り薬や飲み薬、重症・最重症の場合に

5月の親子サークルの予定

みかん 9日 16日 23日 30日 (月)

いちご 11日 18日 25日 (火)

自由サークル 2日 6日

※16日：避難訓練をします。(非常食の試食もあります)

※30日：お誕生会

お出かけサークル(金曜日)

13日 種まき権兵衛の里 10時はじまり

20日 道の駅まんぼう裏の芝生 //

27日 種まき権兵衛の里 //

お知らせ

◇保険証の毎月一回のご提示お願いいたします。保険証が変更になったときはすぐに連絡してください。

◇熱のある方(あった方)は車でお待ちいただき、携帯電話でお知らせください。 TEL 0597-47-3341

休日当番

5/3(祝)
15(日)
22(日)

5月の休日診療当番医

	尾鷲市	紀北町
5/3(祝)		かとう小児科
8(日)	尾鷲総合病院 9時~17時	尾鷲総合病院
15(日)		かとう小児科
22(日)		かとう小児科
28(日)		尾鷲総合病院